

クオータ科目の学び方

～英語・数学・物理クオータ科目履修ガイド～

クオータ科目は全部で16種類あるぞ



教養科目

- ものづくり基礎実習 I
- ものづくり基礎実習 II

言語系科目

- 基礎英語 I
- 基礎英語 II
- リーディングスキル I
- リーディングスキル II

数

理数系科目

- 基礎数学 I
- 基礎数学 II
- 数学
- 應用解析

- 工学基礎物理
- 物理 I
- 物理 II
- 工学基礎物理実験

- 化学 I
- 化学 II

物

この冊子では主に必修までの英語・数学・物理のクオータ科目の授業の進め方、履修上の注意点について解説します。分からぬい点はクオータ運営室に問い合わせましょう。

これ以外のクオータ科目については、学生便覧やガイダンスできちんと理解しましょう。分からぬい点は担当教員に問い合わせましょう。

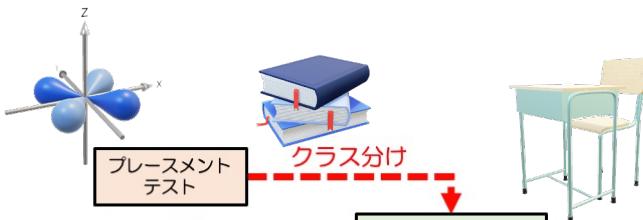
クオータ運営室

問い合わせ先メールアドレス

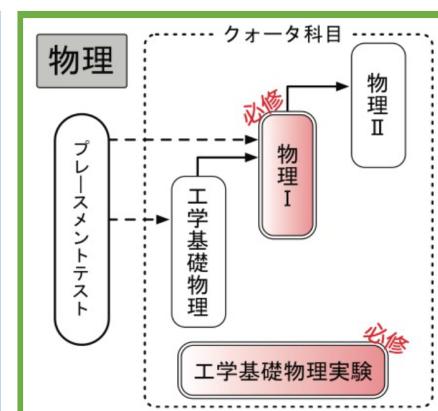
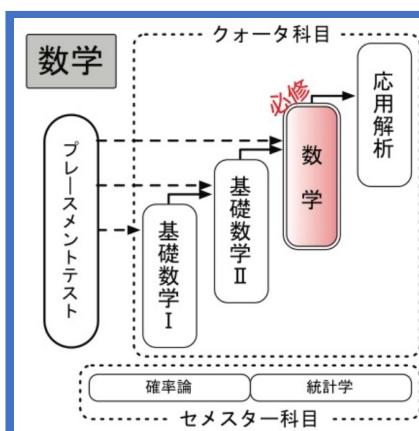
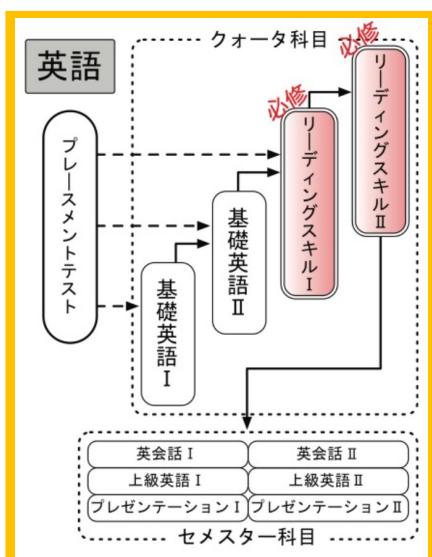
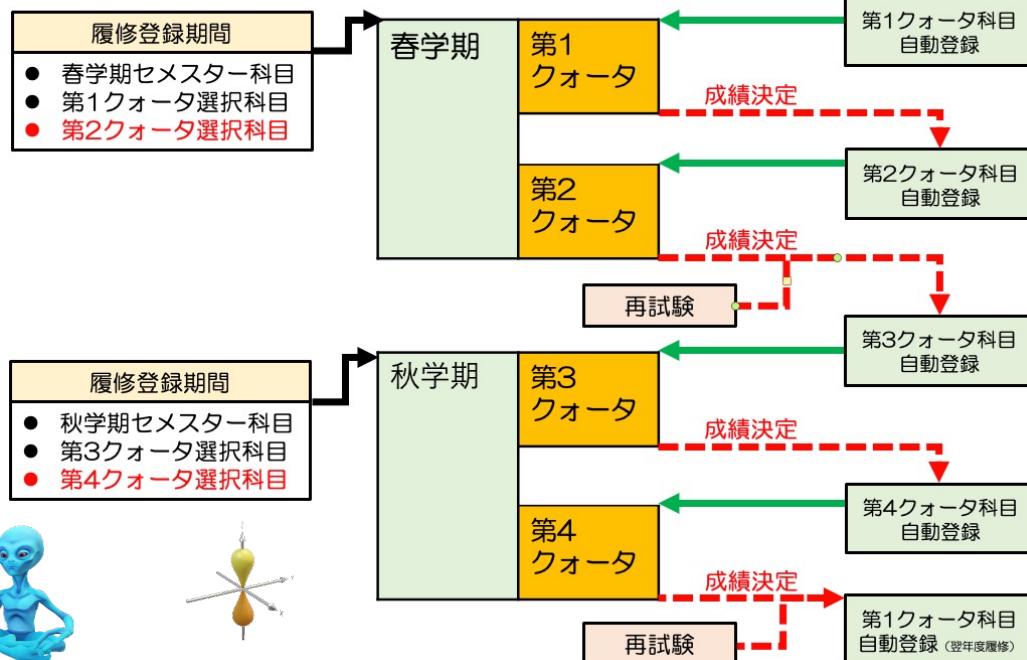


9fa27043.nitay.onmicrosoft.com@apac.teams.ms

クオータ科目の概要



英・数・物以外に関しては
『共通教育の
学び方』も参考にしてくれ



最初に履修する科目

プレースメントテストの結果により「基礎英語 I」「基礎英語 II」「リーディングスキル I」のいずれか。

必修科目

「リーディングスキル I」と「リーディングスキル II」。

セメスター科目

「リーディングスキル II」に合格すると履修できる。

最初に履修する科目

プレースメントテストの結果により「基礎数学 I」「基礎数学 II」「数学」のいずれか。

必修科目

「数学」のみ。

セメスター科目

履修のための条件なし。
クオータ科目と同時に履修ができる。

最初に履修する科目

プレースメントテストの結果により「工学基礎物理」「物理 I」のいずれか。

必修科目

「物理 I」と「工学基礎物理実験」。

工学基礎物理実験

学科ごとに履修するクオータが指定される。

- ✓ 第1クオータの履修科目は入学時に受験するプレースメントテストで決まります。
- ✓ 合格するまで同じ科目を次のクオータで履修します。
- ✓ 合格したら次のクオータで1つ上の科目を履修できます。

✓ 必修科目までは自動で履修登録されるので、履修登録期間に自分で登録する必要はありません。

✓ 第1（第3）クオータで必修科目を履修し、合格後に第2（第4）クオータでその上の選択科目の履修を希望する場合、春学期（秋学期）の履修登録期間に選択科目の登録を行ってください。第1（第3）クオータで必修科目が不合格であった場合、第2（第4）クオータの選択科目は、自動的に必修科目で上書きされます。

授業の進め方



『履修の機会を増やし、繰り返し学修することで基礎学力を定着させる』がクオータ科目のコンセプトだ。



- ✖️ 授業はセメスター科目同様、全部で14回あります。
- ✖️ クオータ科目の期間はセメスターの半分なので、週2回（火曜日と金曜日）授業があります。

- 🟠 英語は第4回、第7回、第10回、第13回授業でテスト（合計4回）があります。
- 🟦 数学は偶数回授業に小テスト（合計7回）があります。
- 🟩 物理は奇数回授業に小テスト（合計7回）があります。また、「工学基礎物理」「物理Ⅰ」では第14回授業で総合理解度チェックがあります。

クオータ科目の1週目と2週目のスケジュール

月	火	水	木	金
1 週 目	第1回授業(4/12) 【物理】第1回小テスト			第2回授業(4/15) 【数学】第1回小テスト
2 週 目	第3回授業(4/19) 【物理】第2回小テスト			第4回授業(4/22) 【数学】第2回小テスト 【英語】第1回テスト

テストは週に2回、多い週で3回実施されるぞ。月・水・木や週末を利用して計画的に学修を進めよう。1年で必修科目を全てクリアできるよう頑張ろう！



- ✓ クオータ科目の授業は、クラスごとに座席が指定されています。
- ✓ 各クオータ開始前に、ポータルサイトで履修する科目、教室、座席表が通知されます。
- ✓ 第1回目の授業では、自分が履修する科目、教室、座席を間違えないよう通知をしっかり確認しましょう。
- ✓ 各クオータ開始前の通知には、授業開始前に準備しておくべきことが記載されています。各科目の指示に従ってください。

必ず毎日チェック！

- ✖️ ポータルサイトで重要な連絡事項を通知します。

重要な連絡事項・・・クラス分け、座席表、再試験の連絡など



- ✖️ Microsoft Teamsを利用し、授業資料の配信や授業の諸連絡を行います。

授業資料の配信・・・ワークシート、練習問題、授業動画など

諸連絡・・・テスト範囲、アンケート、授業の補足、教室変更、クオータ運営室からの連絡など

- ✖️ Outlookを使い、大学のメールアドレスで連絡を行います。

メールを使った連絡・・・クオータ運営室、担当教員との連絡など

テストについて



英語

数学

テスト回数

第4回、第7回、第10回、第13回授業で実施する合計4回のテスト。

問題数/解答時間

各テスト20~30問/30~50分。

テスト範囲と実施時間

直近2回分の内容で、授業中盤に実施。

テスト回数

偶数回授業で実施する合計7回の小テスト。

問題数/解答時間

各小テスト10~15問/25分。

テスト範囲と実施時間

直近2回分の内容+それ以前の内容（復習問題）から出題。授業後半に実施。

物理



テスト回数

- 奇数回授業で実施する合計7回の小テスト。
- 第14回授業で実施する総理解度チェック1回。
(「物理Ⅱ」では総理解度チェックの実施なし。)

テストの点数でその科目の合否が決まるぞ。試験範囲をよく確認しテスト対策をするんだ。ただし出席日数が足りていないと成績評価がされない。詳しくは次のページの『欠席について』でチェックしてくれ。

問題数/解答時間

- 各小テストは6問/15~20分。
- 総理解度チェックは全20問/30分~50分

テスト範囲と実施時間

- 小テストは直近2回分の授業内容で、授業開始時に実施。（例）第3回授業開始時に実施する第2回小テストは、第1回・2回の授業内容。※ 第1回小テストのみ第1回授業の内容が範囲で、授業後半に実施する。
- 総理解度チェックは第1回～第14回の授業内容で、授業後半に実施。

テスト受験上の注意点

- 全てのテストはマークシートによる選択式です。テストの際は必ず鉛筆かシャープペンシルを持ってきてください。
- マークシートには、学籍番号をマークする欄があります。これをマークミスすると解答が合っていても点数が0点となります。
- 教室には時計がありませんので、腕時計でテストの残り時間を確認してください。解答時間半分経過時、テスト終了5分前には教員からアナウンスがあります。
- 不正行為（スマホやウェアラブル端末の使用、カンニングなど）は厳しく罰せられ、単位修得ができなくなります。

テストのフィードバック

- 全てのテスト（物理『総理解度チェック』以外）にはフィードバックがあります。
- フィードバックで以下のことを確認できます。
 - どの問題が正解でどの問題が不正解であったか。
 - 間違った問題を理解し直すために、教科書、問題集、ワークシートのどこを復習するべきか。
- フィードバックに記されたアドバイスに従い、間違えた問題のおさらいをし、疑問点をなくしておきましょう。

【フィードバック確認方法】

【クオーター科目フィードバック資料】999Y001
学籍番号 :
999Y001
クオーター科目フィードバック資料 :
999Y001
こちらからもクオーター科目のフィードバック内容が確認できます。
日本工業大学 クオーター科目フィードバック

このようなメールが大学のメールアドレス（Outlook）に届きます。メールの指示に従いリンクを開いてフィードバックを確認してください。

欠席について



- ✖ 全14回の授業のうち10回以上出席していないと成績評価の対象となりません。したがって、**5回以上欠席すると、その科目は不合格となり成績には『／』と表記されます。**
- ✖ ポータルサイトで自分の出欠状況を確認することができます。

ポータル

クラスプロファイル

マイステップ

マイデータ					
成績照会	学生時間割表	学生出欠状況確認	課題提出	QA	学籍情報照会
月2	110X101	生理学	-	○	出欠管理されていません
月4	110X104	音楽	40%	×	×
火1	110X201	英語Ⅰ	80%	○	○
火2	110X202	地理学	-	○	出欠管理されていません
火3	110X203	社会学	-	○	出欠管理されていません
水4 水5	110X314	情報リテラシー	-	○	出欠管理されていません

曜日時限	授業コード	科目名	出席率	1回	2回	3回	4回	5回	6回
月2	110X101	生理学	-	○	出欠管理されていません				
月4	110X104	音楽	40%	○	×	×	休	○	
火1	110X201	英語Ⅰ	80%	○	○	○	×	○	
火2	110X202	地理学	-	○	出欠管理されていません				
火3	110X203	社会学	-	○	出欠管理されていません				
水4 水5	110X314	情報リテラシー	-	○	出欠管理されていません				

○：出席 △：早退 ▲：遅刻 ×：欠席 -：公欠 休：休講 ／：未実施

【出欠状況確認方法】

ポータルサイトの『マイステップ』→『学生出欠状況確認』からチェックすることができます。



やむを得ない事情で欠席してしまった

- ✖ 『欠席届・追試願（指定クオータ科目対象）』を共通教育学群事務室（2号館2-172室）に提出する。※ 指定クオータ科目（英語・数学・物理）以外では各担当教員に『欠席理由書』を提出します。「工学基礎物理実験」も担当教員に『欠席理由書』を提出します。
 - ① 『欠席届・追試願』をダウンロードする。
 - ② 『欠席届・追試願』を印刷し必要事項を記入する。
 - ③ 『欠席届・追試願』と欠席理由を証明する書類の2点を共通教育学群事務室に提出する。
 - ④ クオータ運営室で欠席理由の正当性を判断し、理由が承認された場合、その欠席が出席扱いとなる。
- ✖ テストの日に欠席した場合は、『欠席届・追試願』の提出と同時に『追試験』の仮予約を行います。

追試験について

- ✖ テストが実施される回の授業を欠席してしまった場合に、後日受験し直すテストを『追試験』といいます。ただし、成績処理の関係上、第13回、第14回授業で実施されるテストについては原則追試験は実施しません。※ 『追試験』は、第2クオータ、第4クオータ終了後に実施する『再試験』とは異なります。
- ✖ 『追試験』は、欠席し受験できなかったテストと同様の形式で、同様の条件で受験します。受験会場は共通教育学群事務室（2号館2-172室）です。
- ✖ 『追試験』の受験には予約が必要です。
 - ① 『欠席届・追試願』を共通教育学群事務室に提出する際に仮予約を行う。
 - ② 欠席理由が認められると予約が確定し、クオータ運営室から、Microsoft Teamsのチャット機能を通じて【追試験実施日時決定のお知らせ】が届く。
 - ③ 指定された日時で追試験を受験する。
 - ④ 追試験の点数が欠席したテストの点数となる。



授業には毎回出席すること！

クオータの授業は週に2回。授業の進みが速いので1回の欠席がテストの点数に大きく影響するぞ。『欠席届・追試願』で認められない欠席（例：3親等以外の葬儀、証明書が発行できない体調不良など）の発生に備えることも大切だ。

欠席した授業内容は配信教材を使って学修せよ！

Microsoft Teamsで配信されている授業資料や教科書、問題集、ワークシートを活用し、自己学修をすることで遅れを取り戻そう。どうしても分からぬ内容については、『学修サポート』を利用しチューター或は教員に直接質問してくれ。

成績評価の方法



英語

合格の基準

全4回分のテストの結果に基づいて総合得点を求め、100点満点中60点以上を合格とします。

合格の秘訣

どの科目も、授業の内容をしっかり復習し、語彙・文法・読解力を総合的に身につけるのが合格の秘訣です。

- 「基礎英語Ⅰ」は、語彙と短文を使った基本文法が出題されます。テキストの各ユニットに出てくる単語と文章を集中的に練習し、身につけましょう。
- 「基礎英語Ⅱ」は、語彙と基礎文法に加え、2～3パラグラフ分の英文が出題されます。各ユニットの語彙・文法・長文の最初2段落を暗記するほど読み込みましょう。
- 「リーディングスキルⅠ」と「リーディングスキルⅡ」は、語彙・文法・長文が出題されます。長文から効率よく必要な情報を取り出せるよう、ポイントを押さえた読解スキルを身につけましょう。どの科目も授業内容を十分に理解し、繰り返し練習しましょう。わからないところは遠慮なく授業中に質問して、疑問を残さないようにしましょう。

数学

合格の基準

全7回分の小テストの結果に基づいて総合得点を求め、100点満点中60点以上を合格とします。

合格の秘訣

- 7回の小テストの点数で合否が決まるので、しっかり準備をした上で小テストに臨みましょう。
- 小テストの前日までに、テスト範囲の問題集を繰り返し解き、理解を深めてください。
- 分からないところがあったら、教科書と解答集をじっくり読んでみよう。問題解答に関する全てのことが載っているので、自己学習に大いに役立ちます。
- 小テストの後は必ずフィードバックを確認し、自分の得意・不得意分野を把握しよう。

物理

合格の基準

全7回分の小テストと総合理解度チェックの結果を総合的に集計・評価し、100点満点中60点以上を合格とします。※「物理Ⅱ」は小テストのみで評価します。

合格の秘訣

- 各小テストの前日までに必ず試験範囲を振り返り、問題を解き直してください。何の対策もせずに小テストを受験することはやめましょう。
- Microsoft Teamsで公開している、ワークシートの詳細解や授業動画を活用し、授業内容の疑問点が残らないようにしておきましょう。物理は基礎の積み重ねが大切です。前半でつまづくと後半の授業についていけなくなります。
- 小テストの後は必ずフィードバックを確認し、自分の苦手範囲を把握、復習するのに役立ててください。第14回授業で実施する総理解度チェックでは、1～13回授業の内容が試験範囲となりますので、各小テストの復習をきちんと行うことで高得点を狙うことができます。

!! フィードバックを確認すると点数が取れているはずなのに不合格だった

!! 次のクオータの科目は「〇〇」のはずだけど「●●」になっている

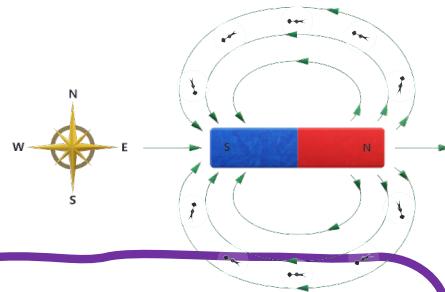
こういう場合は、教務課で『疑義照会』という手続きができるぞ。成績や科目に誤りがあると思ったら『疑義照会』期間中に手続きを行おう。

ただし、「全ての授業に出席した」「全てのテストを受験した」だけでは合格とはならない場合がある。上記の合格の基準をしっかり確認してくれ。出席日数が足りていることは前提条件。その上で受験したテストの点数によって成績が決まるんだ。

出席日数はポータルサイトで、テストの点数はフィードバックを確認することで把握できるぞ。『疑義照会』の前にまずはこの2点をチェックしてくれ。

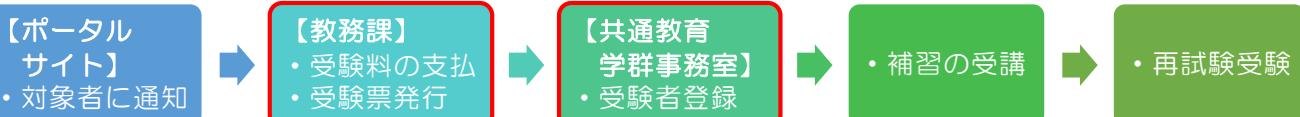


再試験について



再試験とは

- 合格点に達しなかった学生のうち条件を満たす者を対象とし、第2クオータ、第4クオータ終了後に実施される試験を『再試験』と言います。
- 『再試験』は、第2クオータ、第4クオータの点数が一定の基準を満たしており、かつ授業の出席回数が10回以上である学生のみ受験を許可されます。
- 『再試験』の対象者（合格点に達していないが条件をクリアしている学生）には、第2クオータ、第4クオータ終了後にポータルサイトで通知されます。
- 『再試験』の受験には申し込み手続きが必要です。
- 『再試験』の受験は有料です。
- 「基礎英語Ⅰ」「基礎英語Ⅱ」「リーディングスキルⅠ」「リーディングスキルⅡ」「基礎数学Ⅰ」「基礎数学Ⅱ」「数学」「工学基礎物理」「物理Ⅰ」が再試験対象科目です。



※ 赤枠の2つの手続きをしないと再試験できません。

再試験の対象者になったら

- 『再試験』の対象者に送られる通知には以下の内容が含まれます。
 - ① 再試験の手続き方法
 - ② 補講と再試験のスケジュールおよび教室
- 『再試験』の受験前に、教務課の証明書発行機で受験料の支払いと受験票の発行、共通教育学群事務室で申し込み手続きを行います。
- 『再試験』の受験には、『再試験』対策に特化した補習に参加する必要があります。再試験は、授業で扱った全ての内容が試験範囲となります。問題数も多くなりますので、きちんと授業内容を復習し疑問点をなくした状態で受験してください。
- 『再試験』で合格点に達すると、その科目的評価が合格（C評価）となります。成績は春学期、秋学期のセメスター科目と一緒に発表されます。

学修サポート



授業中や自己学習をしている中で、少しでも分からぬ部分があったらすぐに学修サポートを利用しよう。疑問点を残したまま先に進むと、どんどん分からぬ所が増えていくぞ。専門科目を学ぶ上でも重要な基礎は早い段階からしっかり固めておこう！

学修支援センター

学修支援センターでは、英語・数学・物理のチューターが常に複数名待機しています。

授業内容で分からぬところが出てきたら、まずは気軽に訪れてみましょう。学修方法のアドバイスなども受けることができます。

学修相談時間は、平日の10:00～17:00となっています。

オフィスアワー

直接教員に質問をしたい場合はオフィスアワーを利用しましょう。

オフィスアワーは、全ての教員が週に4コマずつ設定しています。質問をしたい教員のオフィスアワーをポータルサイトで調べて研究室を訪ねましょう。

オフィスアワーの参考方法

- ① ポータルサイトメニューから【時間割】→【教員時間割】を選択。
- ② 教員の氏名を入力し【検索】をクリック。

進級要件について



学年 進行	基幹工学部	先進工学部	建築学部
1年 ↓ 2年	<ul style="list-style-type: none"> 「数学」「物理Ⅰ」を修得していること • 応用化学科は「化学Ⅰ」「化学Ⅱ」も修得していること 		<ul style="list-style-type: none"> 言語系科目（英語クオータ科目を含む）2単位以上を修得していること 理数系科目（数学・物理クオータ科目を含む）4単位以上を修得していること
2年 ↓ 3年	<ul style="list-style-type: none"> 必修科目「リーディングスキルⅠ」「リーディングスキルⅡ」「数学」「物理Ⅰ」「工学基礎物理実験」を全て修得していること 		

- 📌 進級要件のうちクオータ科目に関連する部分のみピックアップしました。上記の進級要件の他に、修得単位数や学科別の進級要件も設定されています。学生便覧で確認してください。
- 📌 **進級要件を充足しなければ、その学年に少なくとも1セメスターは留まります。（少なくとも半年留年します。）**

訪問先一覧



名称	場所	内容
共通教育学群事務室	① 2号館1階（2-172室）	<ul style="list-style-type: none"> 『欠席届・追試願』提出 追試験、再試験申し込み手続き
教務課	② 1号館1階	<ul style="list-style-type: none"> 再試験申し込み手続き 疑義紹介
学修支援センター	③ 5号館1階	<ul style="list-style-type: none"> 学修相談
英語教員研究室	④ W1棟2階	<ul style="list-style-type: none"> オフィスアワーの利用
数学教員研究室	④ W1棟2階	<ul style="list-style-type: none"> オフィスアワーの利用
物理教員研究室	⑤ E24棟2階	<ul style="list-style-type: none"> オフィスアワーの利用

📌 クオータ科目の履修に関する内容は、
クオータ運営室にメール（Outlook）で
問い合わせてください。



クオータ運営室

メールアドレス
QRコード

9fa27043.nitay.onmicrosoft.com@apac.teams.ms

